

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

9月の4連休、例年は秋祭りの時期と重なるのだが、新型コロナウイルスの影響で大勢が集まる行事が中止になり、晴れ間が続かな

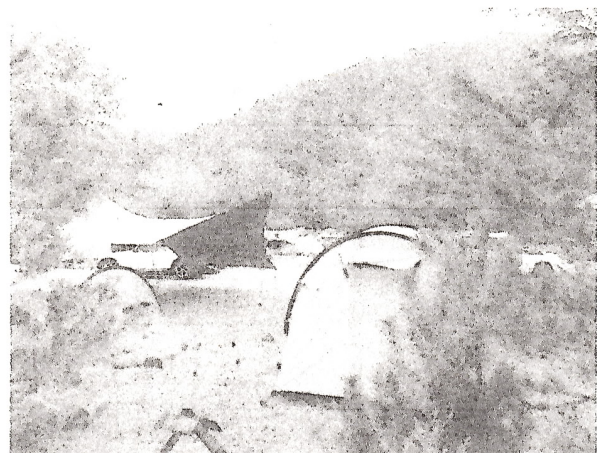
い秋天候もあり、黄金色に波打つ稲穂の収穫作業がにぎやかだ。国・県・市町村の経済対策効果や、感染防止のための外出自粛期間が長かったためのストレス解消気運も重なり、大勢のお客さまが訪れる。お昼時には、そば店の前には行列ができるほどだが、各店とも感染防止の対策には気を使っている緊張感が伝わってくる。またアウトドアを目的にしたお客さまも多い。首都圏からの白馬地域へのアクセスは、軽井沢などに比べ弱かったのだが、今年3密を避けて首都圏か

ら交通の便の悪い場所が選ばれたかのようになり、地域のキャンプ施設はにぎわった。そして今年、スノーピークランドステーション白馬がオープンして話題になり、パタゴニア白馬をはじめ多くのアウト

## アウトドアのメッカとして 望まれる地域の連携が大切だ

キャンプ場での食材を買い求める店舗も、新鮮な食材の品数も豊富。キャンプを楽しむ家族連れに尋ねると「驚く程の調味料の種類がそろっている」「商品単価も低く、ほとんど現地で確保できるの

金繰り難にある中小企業を中心に投資抑制が続いている」「7月の2人以上世帯の消費支出が7・6%減」「解雇・雇止め、全国5万人」「内定取り消し昨年5倍」「長野の住友電工孫会社解散へ、工場閉鎖140人解雇」「JR東日本、初の赤字4180億



白馬アルプスオートキャンプ場。入り込みのにぎやかさがうれしくなる

基金の繰り入れに頼らない編成を目的に3億円を削減する計画案を議会全員協議会で明らかにした。町民に厳しい状況を理解してもらうために、削減内容を早く公表して意見を聞き取りたいとの対応は、他の自治体にも共通するのではないだろうか。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)